

# 滋賀県内の労働災害発生状況

平成18年4月  
滋賀労働局

## 死傷災害の増加傾向に歯止め！

－建設業は、大幅減少 商業等の第三次産業が増加傾向－

### 1. 概況

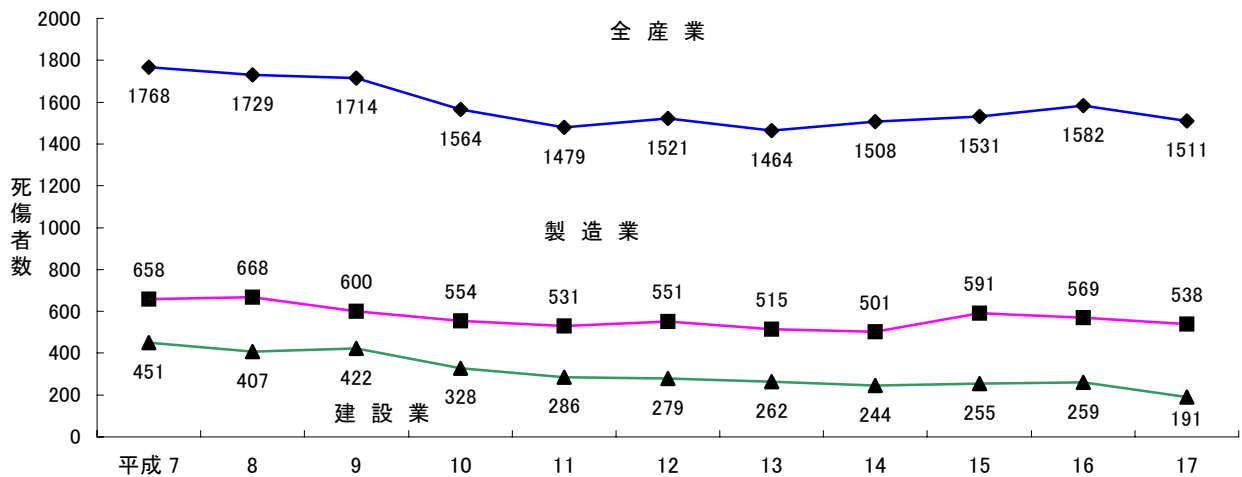
#### ① 災害発生状況

滋賀県内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、第1図に示すように、平成14年より3年連続して増加していたが、平成17年に増加傾向に歯止めがかかった。

平成17年の休業4日以上死傷者数は、全産業では1,511人と前年に比べ71人（-4.5%）の減少となった。

このうち、製造業は538人と前年に比べ31人（-5.4%）、建設業は191人と前年に比べ68人（-26.3%）の減少となった。

<第1図> 休業4日以上死傷者数の推移

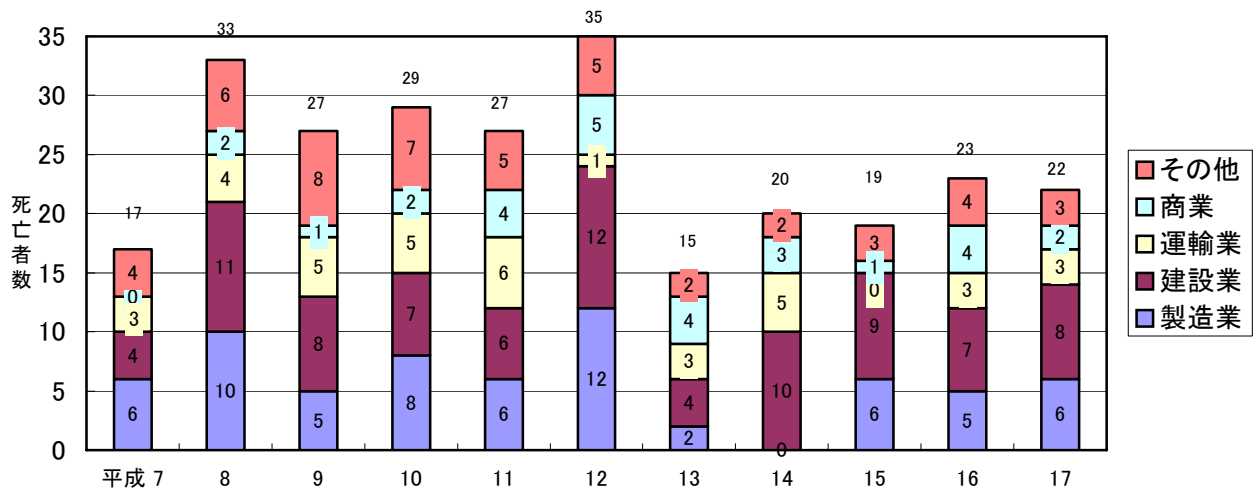


#### ② 死亡災害発生状況

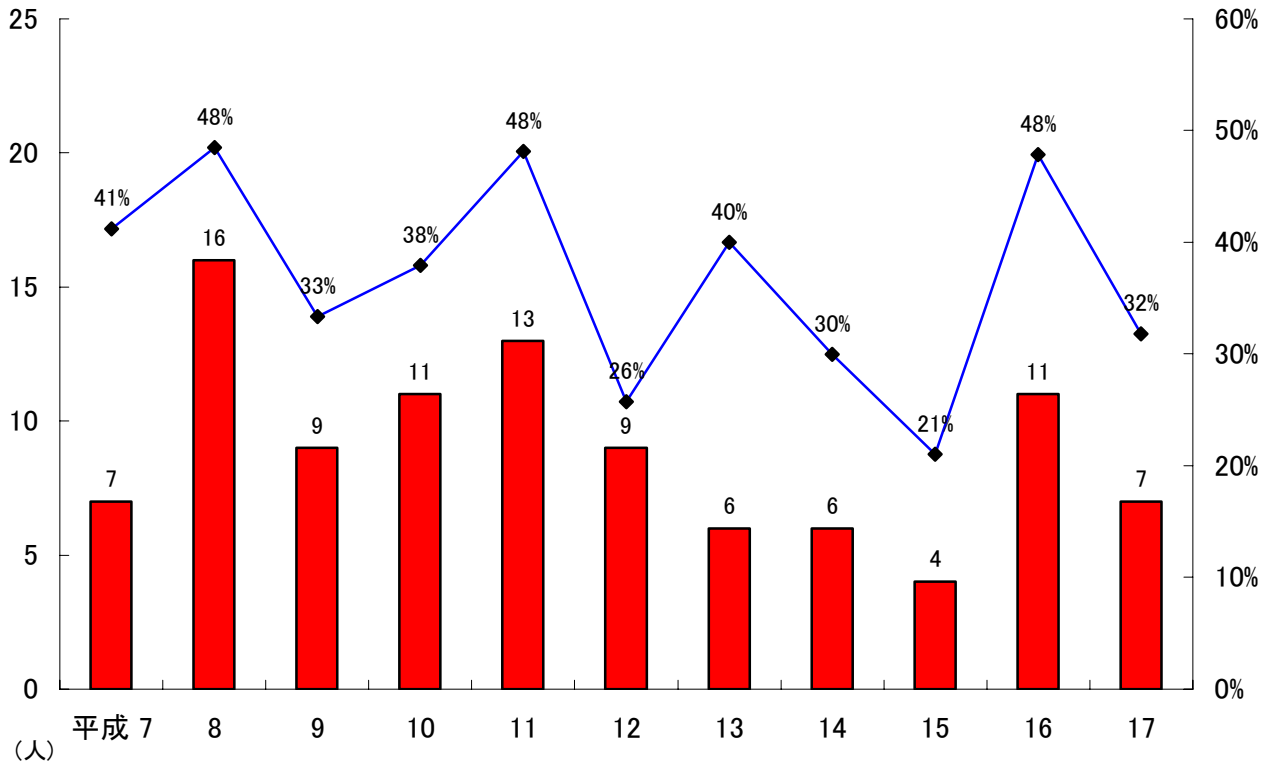
死亡災害は第2図に示すように、ここ数年は増減を繰り返し、平成17年は22人で前年に比べ1人減少した。

交通事故による死亡者数は、第3図に示すとおり7人で、前年より減少した。

<第2図> 死亡者数の推移



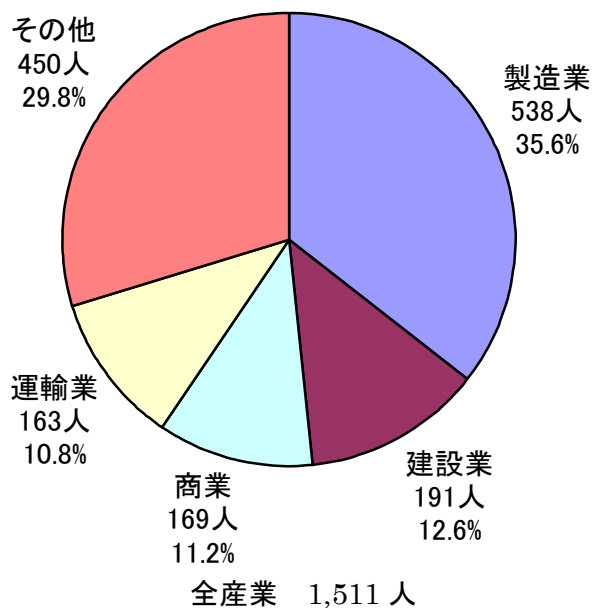
<第3図> 交通事故による死亡者数の推移



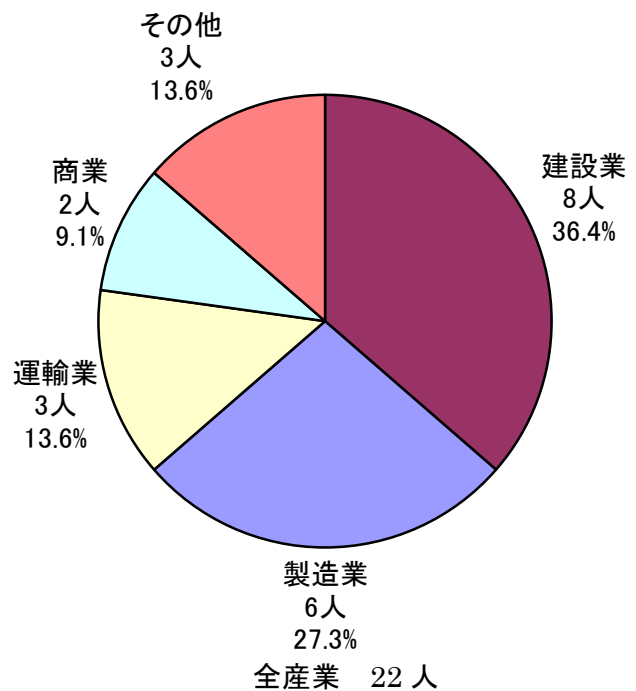
## 2. 業種別の発生状況

- ① 休業4日以上死傷者数は、第4図に示すように製造業が35.6%を占め最も多く、ついで建設業の12.6%となっており、この2業種で全体の48.2%と約半数を占めている。  
また、商業等第三次産業の占める割合が増加傾向となっている。
- ② 死亡者数は、第2図、第5図に示すように、製造業で6人と前年の5人に比べ1名増加した。また、建設業で8人と前年に比べ1人増加した。この2業種で全体の半数を超えている。

<第4図> 業種別死傷災害



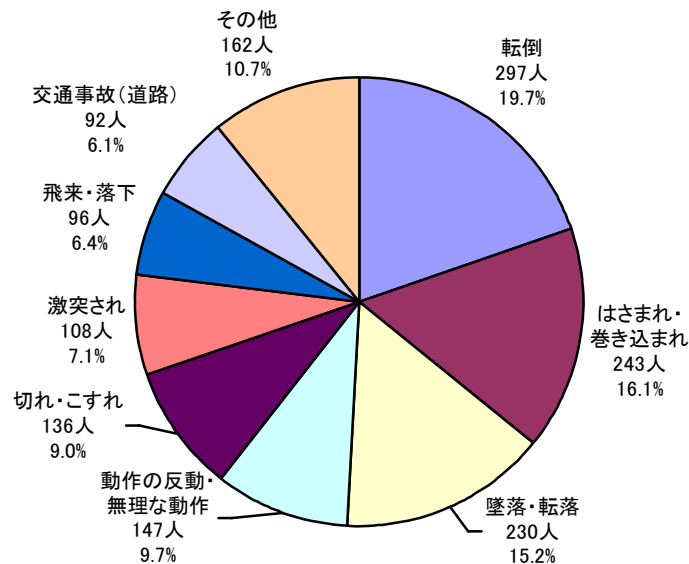
<第5図> 業種別死亡災害



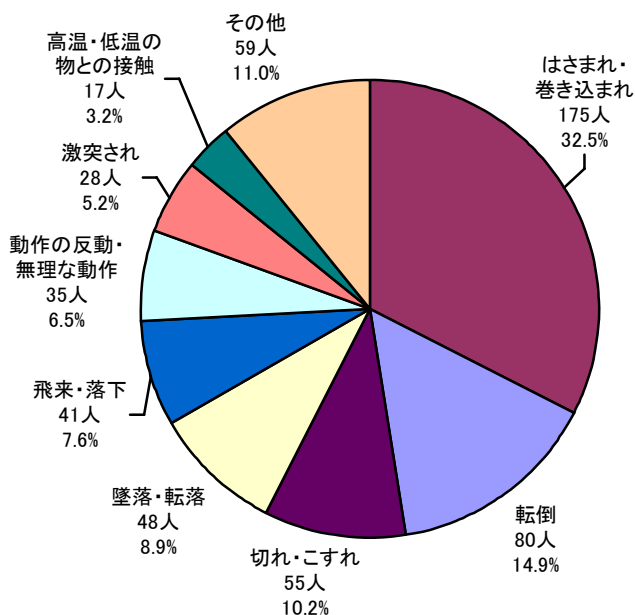
### 3. 事故の型別の状況

- ① 死傷者数を事故の型別で見ると、第6図に示すように「転倒」19.7%と最も多く、次いで「はさまれ・巻き込まれ」16.1%、「墜落・転落」が15.2%の順となっている。
- ② 事故の型別の死傷者数を業種別にみると、製造業においては「はさまれ・巻き込まれ」が32.5%と最も多く、次いで「転倒」「切れ・こすれ」の順となっている。  
また、建設業においては「墜落・転落」が34.6%と最も多く、次いで「切れ・こすれ」「飛来・落下」の順となっている。

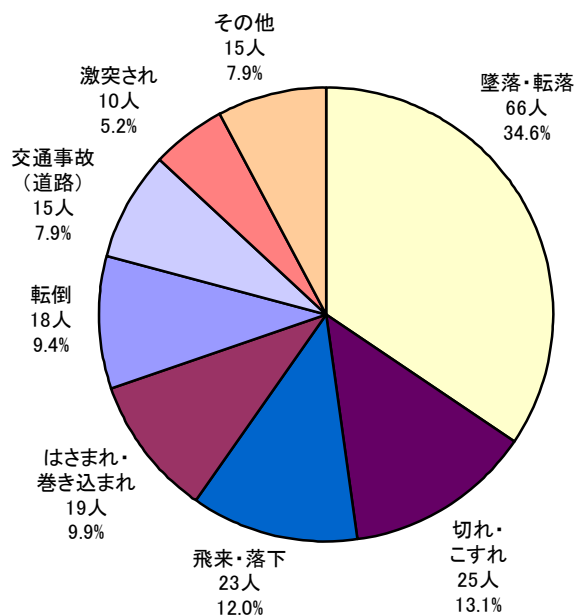
<第6図> 事故の型別死傷災害



全産業 1,511人



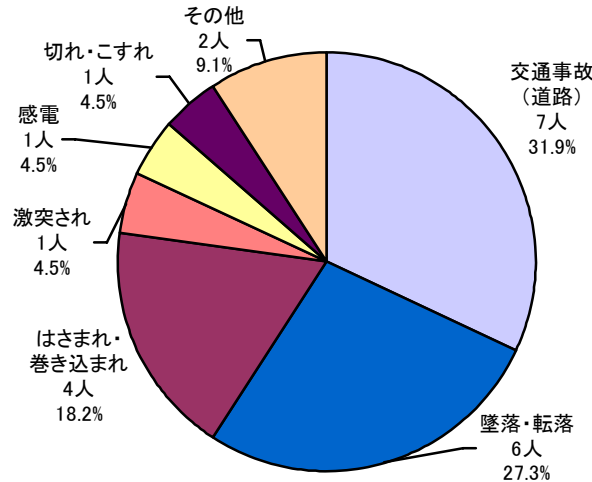
製造業 538人



建設業 191人

- ③ 死亡災害の事故の型別では、第7図に示すように「交通事故(道路)」が7人と最も多く、次いで「墜落・転落」で6人発生している。

<第7図> 事故の型別死亡災害



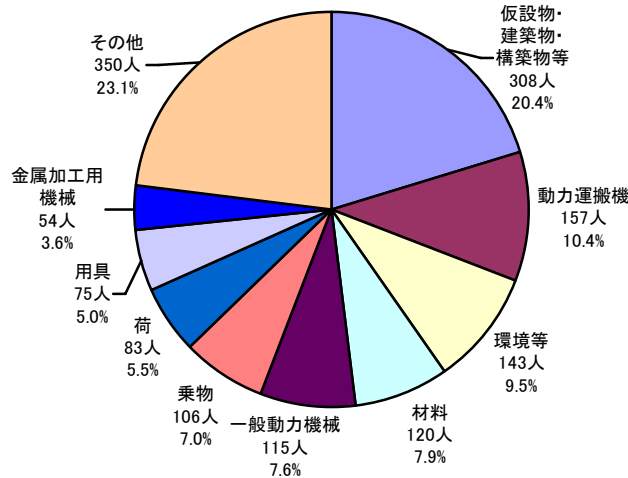
全産業 22人

4. 起因物別の状況

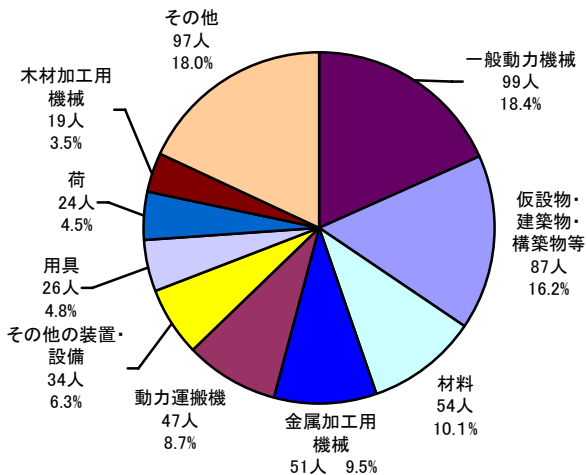
死傷者数を起因物別で見ると、第8図に示すように「仮設物・建築物・構築物等」が最も多く、20.4%を占めている。

製造業では「一般動力機械」に起因する災害が最も多く、「仮設物・建築物・構築物等」「材料」が続いている。また、建設業では、「仮設物・建築物・構築物等」が最も多く、建設業の約1/3を占めている。

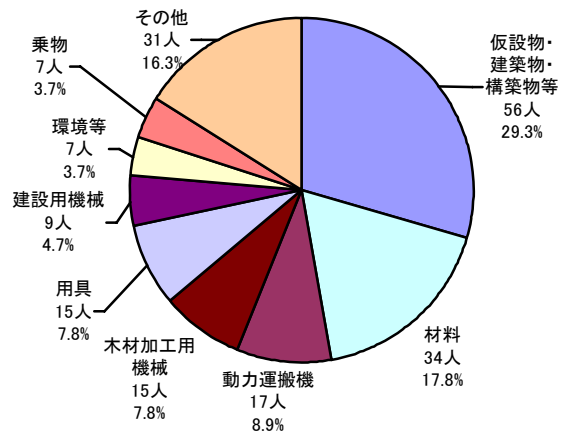
<第8図> 起因物別死傷災害



全産業 1,511人



製造業 538人



建設業 191人